

絵物語 めまづ昔ばなし

第一巻

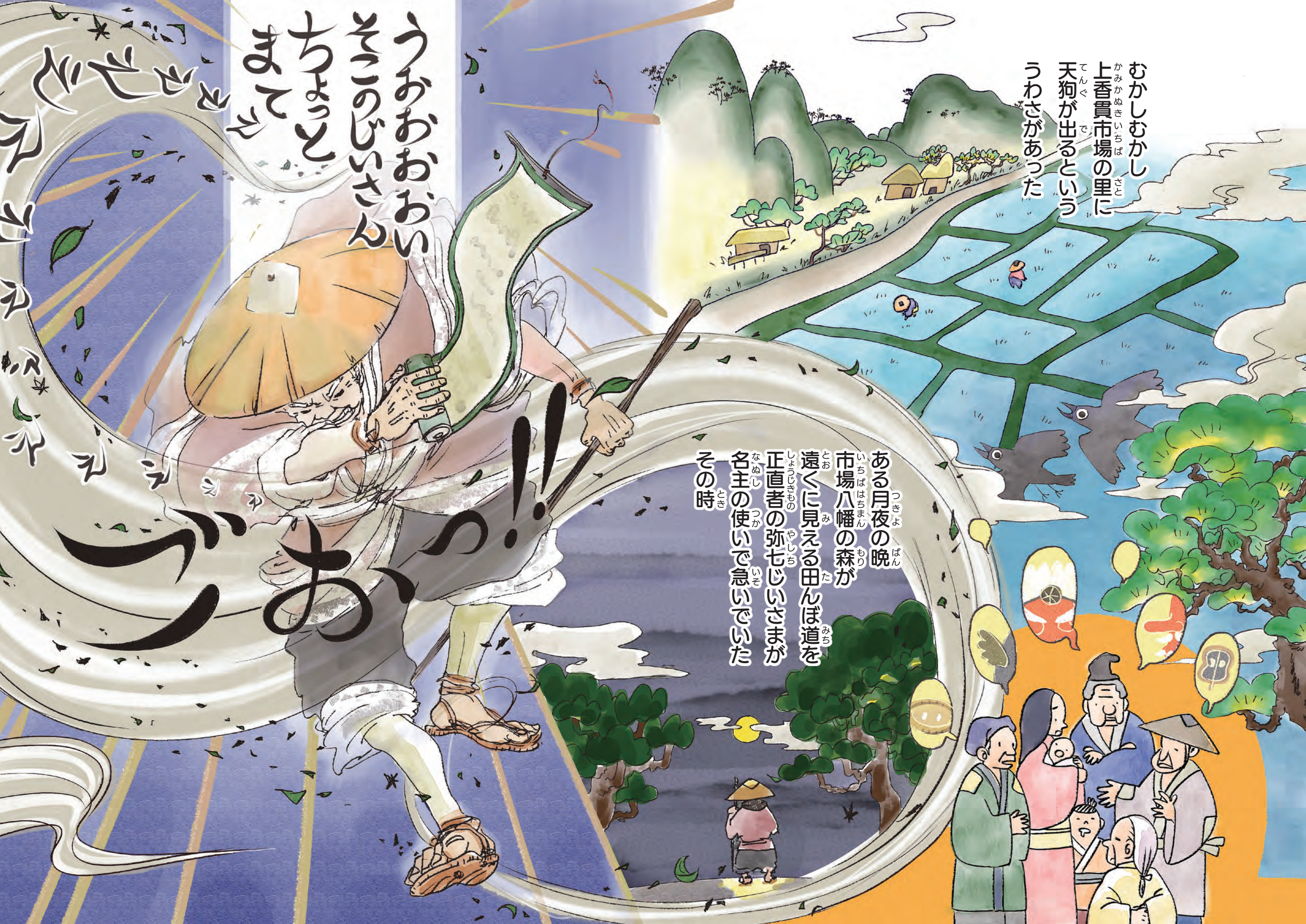


だいよんちく
第四地区の昔ばなし

むかしむかし
かみかぬきいちば
上香買市場の里に
てんぐ
天狗が出るとい
うわさがあつた

ある月夜の晩
いちばはちまん
市場八幡の森が
とみ
遠くに見える田んぼ道を
しんせいの
正直者の弥七じいさまが
なぬし
名主の使いで急いでいた
その時

うおおおお
さいわい
ちやうど
まじ



まー

ものすごい風の中から
大きな声が聞こえた

すもつじゃ

すもつをとるのじゃ

声のする方をみると
天狗だった

急いでいた弥七は
めんどくさくなくて
天狗をなげとばした
くやしそうな天狗の声が
夜道にひびいていた



つぎの晩
今度こそ弥七を
投げとばしてやろうと
待ちかまえていると
天狗を呼ぶ声が
近づいてきた

やーい
天狗ー!!
でまーい



こゑの主は強そうな若者
とても勝てそうにない天狗は
腹が立ってしかたがない
弥七が言いふらしたと思い込み
仕返しをしてやろうと決めた



あな
ほい

ちんち

さて
天狗の悪だくみの始まり
勝つのが三度の飯より
好きな天狗
弥七に勝つために
うまい方法はないかと
いろいろ考えた

あらよ

ほい

天狗は大きな石や小さな石を
手当たりしだい運んできて
道の真ん中にはらまいた

それから何日かたったある晩
弥七は再び名主の使いで
あの道を通ることになった



ひも張り

かみり



弥七は

夜道にばらまかれた石に

まんまとつまずいた

天狗は

弥七の背中を強くふみつけ

おい
じい

わしとすもうをとるなら

かんにんしてやる



弥七が何度断っても

天狗はまったく

聞く耳をもたない

それどころか断ることに

背中を強くふみつけた

弥七は痛くて痛くて

たまらずうめき声をあげた

その時

白馬にのった
いちばはちまんじんじや
市場八幡神社の神様が
ふたりの目の前に現れた

かみさま
神様はあつという間に
やしち うえ
弥七の上にいた天狗を
つえで打ちたおし
おもおも
重々しい声で

うじこ
おれの氏子をなぜいじめるのだ
てんぐ
よいか天狗よ
けつ
これから決して
よわ
弱いものいじめを
してはならぬ
まえ ちから ひと
お前の力は人のために
つか
使うのだ

てんぐ
天狗は
とお
その通りにすることを約束した



それからというもの
天狗はとても優しい親切な
行いをするようになった

市場の里の村人は
天狗と仲良く暮らしながら
たまにはすもうを
とるようになった

村人たちは
八幡の神様はありがたい
悪い天狗をこらしめてくれたと
ますます八幡神社を
あがめるようになった

めでたしめでたし。



「天狗のすもう」の舞台 八幡神社（市場町）



沼津駅から中央公園を抜けてあゆみ橋を渡ると、八幡神社があります。狩野川の袂にあり、木陰を通る風が心地よい場所です。あゆみ橋がかかる前、神社の周りにはたくさんのお木が生い茂り、天狗が出てきてもおかしくない雰囲気がありました。かつては境内に土俵があり、秋の祭典では「子どもすもう」が行われていました。神社の脇には民生会館があり、地域の人たちが自然と集う場所でもありました。

現在は境内の西側に香貫公園が整備され、多くの方々の憩いの場となっています。

散歩がてら、ふらっと立ち寄って天狗を探してみませんか。



市場町・御幸町の総鎮府・氏神
祭神 菅田別命 出雲大社（大國主命）
末社 津島神社（素盞雄命）

由緒及び創立は詳かでない。現在の社殿は昭和五年（一九三〇）に、千本松原の松を材料として流れ作りの社殿が御造営された。平成元年（一九八九）に屋根の葺き替え及び社殿の修復工事が行われた。市場町・御幸町の総鎮守・氏神さまとして、地域の安泰と発展の爲また氏子住民の安全・生業繁盛の爲に祀られ、厚い崇拜を集めている。（神社人口説明板より）



江戸時代初期に 香貫の里を潤した

内膳堀

内膳堀は江戸時代の初めに香貫地域に水を引くために造られた用水路のことです。功労者の植田内膳から名をとり、内膳堀と呼ばれています。

内膳堀は主に上堀・下堀の2本の水路からなります。この2本の水路が次第に枝分かれし、香貫地域の田畑を潤しました。これらの水路を総称して香貫用水と呼んでいます。かつて香貫地域は、雨水と香貫山



霊山寺南の内膳堀（下堀）



市民文化センター東の内膳堀（上堀）

麓のため池のみが水源であり、特に農業で慢性的な水不足に悩まされてきました。江戸時代の初め、水不足解消のため狩野川の上流から水を引くことを計画したのが、植田内膳です。内膳は領主の許しを得て、私財を投じて工事に着手しました。工事は困難を極めました。用水路が完成した結果、香貫地域の水不足は解消し、安定した農業ができるようになりました。



植田内膳徳徳碑（香陵台）



霊山寺…地域の人は通称「れいざんじ」と呼んでいる



昭和初期の内膳堀の位置（『植田内膳と香貫用水』2004年 沼津市歴史民俗資料館発行より転載）

現在、香貫地域は市街地化して、内膳堀の姿は失われつつあります。香貫用水も農業用水としての役割は少なくなり、代わりに雨水を排水する役割を担っています。水路も暗渠（地中に埋められた水路）になって地上からは見えないところも多くなっています。しかし、今でも沼津

市民文化センターの東側や、霊山寺の南側で勢よく水が流れる用水路を見ることが出来ます。香貫地域の人々に大きな恩恵をもたらした内膳堀。内膳の功績を称え、後世まで語り継ぐため香貫山の香陵台には植田内膳の石碑が建てられています。

御成橋の歴史



おなりばしわたりぞ
御成橋渡初め
昭和12 (1937) 年に現在の御成橋が完成
橋・欄干・アーチ部は鉄製で橋脚はコンクリート造り



げんざい おなりばし
現在の御成橋



おなりばし ぜんしん もくせい しょうだいみなとばし え ま めいじ
御成橋の前身 木製の初代湊橋の絵馬 [明治9 (1876) 年]



にだいめみなとばし めいじき
二代目湊橋 (明治期)
絵はがき「沼津名勝 湊橋ヨリ市街ヲ望ム」(蘭契社製)
橋・欄干部は木製で橋脚はレンガ造り



おなりばし
御成橋とボートレース (『沼津案内』大正8 (1919) 年)
三代目は御成橋と名を変え、橋・欄干・アーチ部は鉄製で橋脚はレンガ造り



えいたいばし へだててぬまづしがい のぞ
永代橋ヲ隔テ沼津市街ヲ望ム



げんざい ぬまづ かのがわ かぬきやま いだ だいのんちく
現在の沼津 狩野川と香貫山に抱かれる第四地区

写真で見ると
今と昔の沼津

沼津市役所の歴史



しせいしこうとうじ しゃくしょ たいしょう ねんご
市制施行当時の市役所 [大正12 (1923) 年頃]



ぬまづしゃくしょ しょうわ ねんけんちく
沼津市役所 [昭和3 (1928) 年建築]



げんざい ぬまづしゃくしょ しょうわ ねんけんちく
現在の沼津市役所 [昭和41 (1966) 年建築]

八幡神社 (市場町) 周辺



はちまんじんじゃ うら するがとしゃかん しりつとしゃかん
八幡神社の裏にあった駿河図書館 (市立図書館)



かのがわはん たこあげ しょうわ ねん
狩野川畔で凧揚 [昭和9 (1934) 年]



げんざい かのがわさがん かいさいじ
現在の狩野川左岸 (こいのぼりフェスティバル開催時)



かのがわさし え ぬまづめいしょう
狩野川岸 (絵はがき：沼津名勝)



くろせはん あり ぬまづありはつれい
黒瀬橋の富士 (絵はがき：沼津富士八景)

ちくしポ

第四地区

だいよんちく

りょうぜんじまえ
霊山寺前にて



だいよんしょうがっこう 第四小学校

ねんせい 2年生のまち探検

たんけん 「すてきな場所」を見つけに行こう!

【授業概要】
身近な地域の「すてき」な人・もの・ことを教材として、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域への愛着を深めていく学習です。今回はそのスタートの「まち探検」。子どもたちはこの後もドキドキワクワクしながら地域の魅力を発見していきます。

「よろしくおねがいします」のあいさつから、とっても元気で笑顔の第四小学校2年生のみんな。学校を出るとすぐに「ここは給食のパンを作っているんだよ!」「ぼくの保育園、幼稚園!」など、自分たちの住む町の「すてき」を教えてくださいました。



学校から折返し地点のせせらぎ公園に到着すると、すぐに公園内を走り回ります。「噴水から水がでてくるよ!」「あそこに鳥の巣がある!」と、たくさんの「すてき」を発見しました。



帰り道も「ここはぼくの家」「ここでよく遊ぶよ」など、みんなでワイワイ言いながら学校へ戻りました。教室では先生が撮影した写真を大型モニターに映して話し合ったり、気になった事を各自パソコンで検索して、見つけてきた「すてき」をまとめていました。



温故知新

お話を聞かせてください!

ちいき 地域の物知りさん

ものし に聞いてみた!

まだまだ知らない
お話がたくさんあります

第四地区の吉田町に長くお住まいの榎原さん、鈴木さん、吉田さんに思い出や昔ばなしをうかがいました。
「内膳堀」にたくさん魚が泳いでいた話や、沼津南消防署前にある祠「石行さん」の話、狩野川河川敷での「どんと焼き」の話などです。

狩野川河川敷での
天高く舞うどんと焼き

榎原さんたちが青年当時の「どんと焼き」の櫓は今よりもずっと高かったそうです。当時は12〜13ほど立ち並んでいた櫓も、近年は数が減ってきたとお話されていました。当時の写真を見



江戸時代初期から続く
吉田町の芹澤家の歴史

吉田町に代々住まう芹澤さんからは、芹澤家の歴史をまとめた「芹澤家史」をお借りしました。1600年前後（江戸時代初期）から吉田町に土着したと思われるこのことで、第四地区の古地図など、当時を知る貴重な資料がたくさん掲載されていました。



せていただきましたが、櫓も炎もそれは豪快な「どんと焼き」でした。

氏子さんたちに聞く
八幡神社の「子どもすもつ」

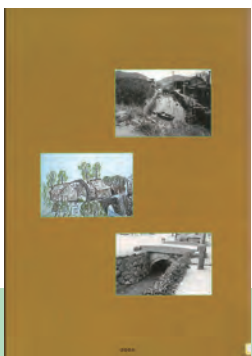
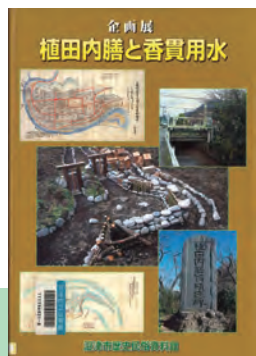
「天狗のすもつ」の舞台となる八幡神社の氏子として神社を守っている市場町の板倉さん、三須さん、大場さんを訪ね、無病息災を祈願する夏越の大祓いの行事「輪くぐりさん」の輪を制作する現場を見せていただきました。平成元年からの行事で、毎年6月下旬に氏子のみなさんが力を合わせ、愛鷹山の力を使って輪を制作しているとのこと。

今年84歳になる三須さんが小学生の頃に参加した「子どもすもつ」の賞品は「やかん」。時代を反映した興味深いお話でした。板倉さんも昭和60年くらいに行司を務めた記憶があるそうです。



柔道場などの施設は移転しました。八幡神社の東側にある民生会館も、老朽化のため令和4年9月に取り壊しが始まるそうです。変わりゆく沼津の町並みを、自分の目にしっかりと焼き付けておきたいと思いました。

ぬまづしりつとしょかんししょ 沼津市立図書館司書さんのおすすめ本



うえだないぜん かぬきようすい 植田内膳と香貫用水

(沼津市歴史民俗史料館) 本館 2階 郷土 K614

ほんしよは、2004年に開催された企画展「植田内膳と香貫用水」の図録として刊行されたものです。香貫地域に水を引くために江戸時代に作られた用水路である「内膳堀」。本書では、時代の変遷の中でその姿を変えてきた内膳堀の歴史を紹介しています。



ヒサクニヒコの不思議図鑑③ テングの生活図鑑

作・絵：ヒサクニヒコ (国土社) 本館 1階 児童 388

たか はな ま か かお おおてんぐ おおぞら と まわ てんぐ 高い鼻、真っ赤な顔の犬天狗。大空を飛び回るカラス天狗。ちょっとぶきみだけど、とってもユニーク。そんなテングたちのすまいや食べ物、仕事や道具、そして人間との関係を紹介するテングの世界のファンタジー図鑑です。



し 知れば知るほどお相撲ことば

(ベースボール・マガジン社) 本館 1階 児童 788

うっちゃる、待ったなし…。私たちが日常で使っていることばには、相撲から生まれたことばが実はたくさんあります。相撲に由来することばを中心に、相撲界の専門用語や俗語も含めて、楽しいイラストとともに紹介されています。

御協力ありがとうございました

- 天狗のすもう
ぬまづ昔ばなし 第二集 (ぬまづ社会科研究会)
- 「天狗のすもう」の舞台 八幡神社 (市場町)
市場町の皆様
- 江戸時代初期に香貫の里を潤した 内膳堀
沼津市文化財センター
- 写真で見る 今と昔の沼津
沼津市明治史料館
- ちくれポ 第四地区
沼津市立第四小学校2年生の皆様
- 温故知新 地域の物知りさんに聞いてみた！
市場町・吉田町の皆様
- 沼津市立図書館司書さんのおすすめ本
沼津市立図書館

絵物語「天狗のすもう」

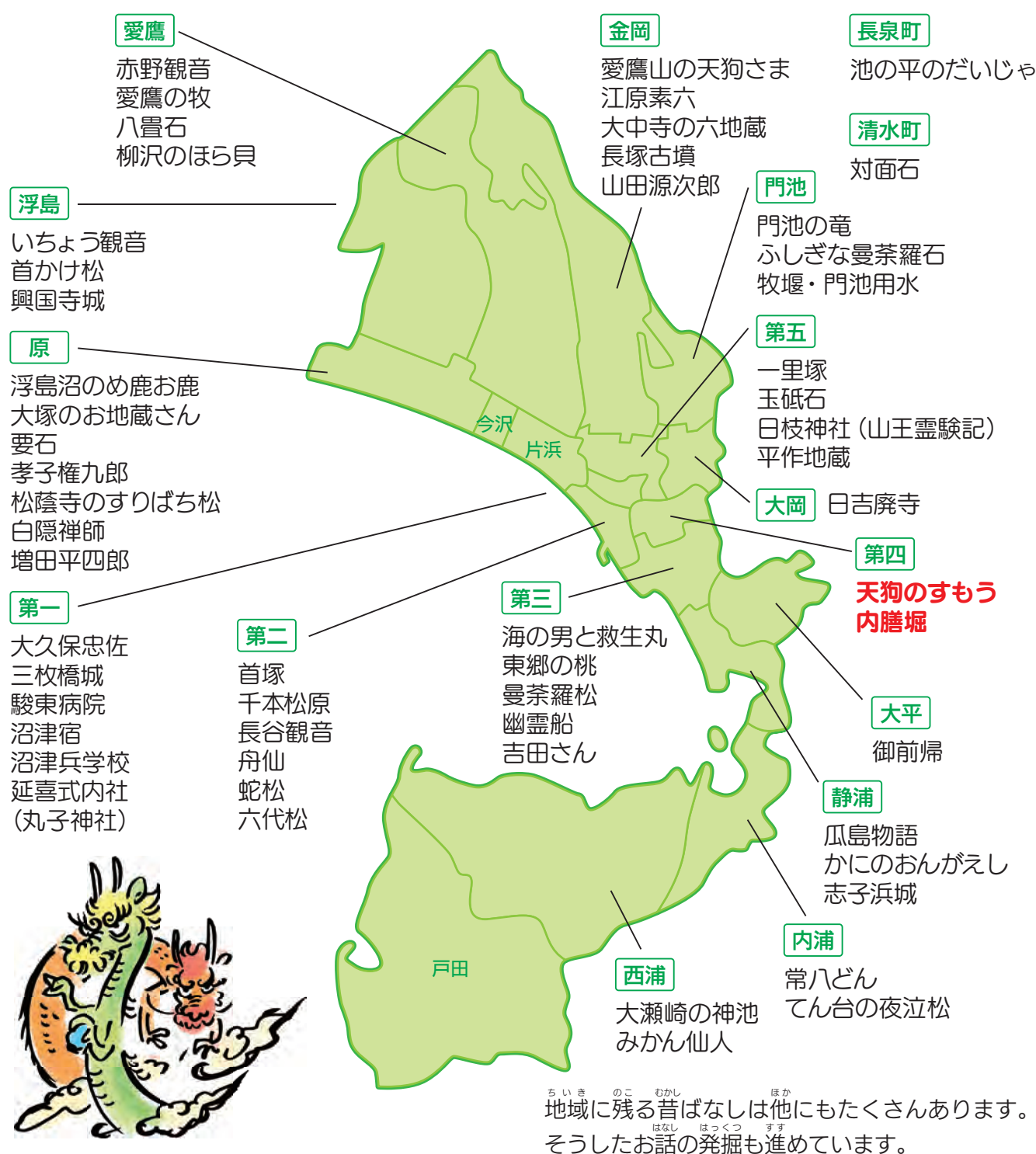
作・絵

マツナガ マサエ

ぬまづしりつしんざいじゅう 沼津市出身・在住のアーティスト。ウィンドウアート・イラスト・ボディペイント・ゆさいが え かか さまざま 油彩画など、絵に関わる様々な分野で活動中。



てんぐ か ちいき むかし 天狗のすもうを描くにあたり、地域の昔ばなしを語り継いでこられた方々の想いや、楽しい思い出話をうかがえた事が何よりの幸せでした。どこか憎めない、チャーミングな天狗の魅力が伝われば嬉しいです。



ちいき のこ むかし 地域に残る昔ばなしは他にもたくさんあります。そうしたお話の発掘も進めています。

絵物語 ぬまづ昔ばなし 第二巻予告

いちょう 観音

うきしまちく むかし 浮島地区の昔ばなし

れいわ ねん がつかんこうよてい 令和4年11月刊行予定

ぬまづ昔ばなし

第一集 昭和49 (1974) 年発行
第二集 昭和57 (1982) 年発行



(ぬまづ社会科研究会)
本館 2階 郷土 K388

ぬまづ昔ばなし 第一集・第二集に収録されているお話

SPECIAL THANKS

ご賛同・ご協賛ありがとうございました

アスクラロスルガ株式会社	石田茶業合資会社	ウェディング ファンタジア
エイショウ株式会社	公益社団法人 江原素六先生顕彰会	佐政水産株式会社
創伸産業株式会社	株式会社 大志建設	沼津 魚がし鮎
沼津信用金庫	有限会社 丸高興業	沼津・湯河原温泉 万葉の湯
沼津ラクーンよしもと劇場	株式会社 明電舎 沼津事業所	雄大グループ
株式会社 NNH	有限会社三宝舎	堀内進税理士事務所
沼津バッティングスタジアム	ハ 福	沼津香陵ライオンズクラブ
		間野吉幸税理士事務所

ぬまづ昔ばなしはホームページからも読むことができます



パソコンやタブレットなどから「ぬまづ昔ばなし」のバナーをクリックすると電子書籍をご覧いただけます。この本に載せきれなかった情報やダウンロード素材なども掲載する予定です。

【ぬまづ昔ばなしページの内容】

- 閲覧用PDF
- ダウンロード用PDF
- 編集部こぼれ話
- ぬりえ素材 など

【今後追加予定の内容】

- 物語の舞台追跡取材
- 紙芝居
- 読み聞かせ動画 など



イラスト募集なども計画中です。たくさんの人が参加して一緒に楽しめるホームページにしていきます。

こちらからアクセス <https://e-monogatari.art/>



編集部 渡邊 純（編集長）
青木 一 深田 昇 沼田 潤
平松奈緒子 増田 澄香 森野 祐子

お問い合わせ・感想・情報提供はホームページの【お問い合わせフォーム】よりお寄せください。



絵物語 ぬまづ昔ばなし 第一巻
令和4年8月25日発行

【発行所】 e-monogatari 沼津市新宿町15-5
【後援】 沼津市・沼津市教育委員会
【協力】 沼津市校長会・NPO法人 沼津観光協会